

## 長身力士の迫力に歓声

よしあずま  
芳東関がひろやす荘を訪問

町内福祉施設の入所者との交流を目的に、嘉<sup>まる</sup>島町出身の郷土力士、芳東関(玉ノ井部屋)と丸山高幸さん(北向)が11月27日、特別養護老人ホームひろやす荘を訪問しました。

身長198cm、体重168kgと体格に恵まれ、角界きっての長身で知られる芳東関が登場すると、その迫力に歓声が。入所者一人一人と握手をしながら「手の太かね、つるつるね」などと談笑し、会場は終始和やかな雰囲気には包まれていました。

また、同日午前中に両名は社会福祉協議会を訪れ、丸山さんから町内の福祉施設や各小中学校などに平成26年の大相撲カレンダー50部が寄付されました。



入所者のみなさん一人一人と握手を交わす芳東関



ペンキまみれで絵を描く子どもたち

## 壁画も顔もカラフルに

### 第13回町内小中学生壁画大会

子どもたちが考えた絵を壁画に描く、町内小中学生壁画大会が11月17日、秋津川沿い町道の歩道壁面で開催されました。

13年目を迎えた今大会には、町内小中学校や関係者、協力団体など約460人が参加。平成13年度に初めて絵が描かれた場所から今回の場所まで、全長約1.4kmに達しました。

1枚約2m四方の壁面を各小中学校の子どもたちは、5色のペンキで色とりどりに塗り飾りました。ところが降り始めた雨で、うまく絵が描けず作業は難航。苦戦しながらも、ペンキが跳ねてカラフルになった顔をそのままに、約半日かけて壁画を描き上げました。

御船町をスタートし、益城町の陸上競技場をゴールとする上益城郡町対抗駅伝大会が、12月15日開催されました。コースは全8区間の34.6km。郡内各町から7チームが出場し、選抜された選手56人がタスキをつなぎました。

本町からは益城町A・Bの2チームが出場。Aチームは1区から先頭を走りましたが終盤、山都町Aチーム

御船町をスタートし、益城町の陸上競技場をゴールとする上益城郡町対抗駅伝大会が、12月15日開催されました。コースは全8区間の34.6km。郡内各町から7チームが出場し、選抜された選手56人がタスキをつなぎました。

本町からは益城町A・Bの2チームが出場。Aチームは1区から先頭を走りましたが終盤、山都町Aチーム

1区 区間新記録  
小崎雄太(益城中2年)

優勝 山都町A  
1時間54分42秒

2位 益城町A  
1時間56分40秒

3位 御船町  
1時間57分13秒

6位 益城町B  
2時間03分00秒

区間賞(町内・敬称略)



声援を受けタスキをつなぐ益城町チーム

## 町の選抜選手が力走

### 第38回上益城郡町対抗駅伝大会